

## 働きがいの向上につながる「人への投資」を求める特別決議

－働く者の力で 明るい未来を切り拓こう！－

生保産業を取り巻く情勢は今、先行き不透明な状況にある。少子高齢化の進行や格差・貧困問題の拡がりなどの社会構造の変化に加え、経済・金融情勢も国内外ともに不安要素を払拭できない状況が続いている。

とりわけ、歴史的な低水準で推移する金利情勢は、生保産業やそこで働く者にとって、乗り越えなければならない大きな課題となっている。

このような状況を打破できるのは、私たち働く者、すなわち「人」の力に他ならない。国民の生活を支えるという生保産業の社会的使命は、従業員一人ひとりの不断の努力なくして果たすことはできない。社会的使命を果たし続けていくための力の源泉は、現場で働く従業員一人ひとりにこそある。

私たち生保労連・各組合は、こうした認識に立ち、本日、2017 春闘・春季方針を決定した。各経営は、私たちの切なる要求を真摯に受け止め、今こそ「人への投資」、すなわち「賃金改善」や「営業支援策の充実」を積極的に進めるべきである。

「人への投資」こそ、従業員のモチベーション・働きがいの向上につながる。

「人への投資」こそ、先行き不透明な状況を乗り越え、明るい未来を切り拓き、生保産業のさらなる発展へとつながる。

私たちはこう確信し、要求実現に向けて総力を挙げて取り組む。

以上、決議する。

2017年1月17日  
全国生命保険労働組合連合会  
第50回中央委員会